

令和5年度 第4回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2024年2月8日（木） 15時00分から16時30分
2. 開催場所 天竜中学校2階会議室
3. 出席委員 齋藤 誠、鈴木滋芳、西尾和史、中村まゆみ、伊藤太一（学校支援コーディネーター）
欠席委員 米山英二、鈴木景子、匂坂典男、伊藤武司（敬称略）
4. 学 校 野秋愛美（校長）、神谷利之（教頭）、山城百孝（教頭）、鈴木美音子（主幹教諭）
佐野正已（CSディレクター）
5. オブザーバー 西澤幸次郎（天竜協働センター長）
傍聴者 なし
6. 会議録作成者 CSディレクター 佐野正已
7. 会長あいさつ <詳細略>
8. 校長あいさつ
・横断幕用鉄製フレーム寄贈の報告（伊藤武司委員寄贈）
・非常用防災トイレキット寄贈の報告（磯部茂明防災士寄贈） <その他は詳細略>
9. 議長の選出
議長は運営評議会会長の鈴木滋芳さんに引き続きお願いすることで全員これを了承した。
10. 前回会議録の確認 <詳細略>
11. 熟議
(1) 学校関係者評価について 鈴木美音子主幹
(2) 学校運営協議会の自己評価について 神谷教頭
12. 報告
(1) 学校部活動について 山城教頭
(2) 桜並木の保全活動（桜の植樹） 神谷教頭
(3) ボランティア活動の報告 //
- (4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）の報告 //
- (5) 横断幕の設置
(6) その他
・次年度第1回学校運営協議会の予定
13. 浜松市教育委員会から <詳細略>
14. 会議記録
委員総数9人のうち5人の出席があり、過半数に達していることから会議は成立とした。

熟議

(1) 学校関係者評価について

○生徒に対する生活と学習のアンケート各10項目と、保護者へのアンケート15項目を実施した。生活アンケートでは「学校生活で楽しく生活ができています」、「安全で安心して生活ができています」の項目は高い評価で、落ち着いて授業に取り組んでいる様子がうかがえる。が、反面学習アンケートで「積極的に挙手・発表している」や、「家庭学習を毎日平均1時間以上している」の数字はあまり高くない。また保護者アンケートで「家庭学習をする習慣が身につくようにしている」では、生徒同様評価が低い。こうしたことから今後の改善策として3点を考えている。①タブレット端末を有効に活用する②天竜中学校で作成した「学びのす

- すめ」(教科ごとに勉強の仕方をまとめたもの)を活用して子供たちに学びの習慣をつけさせる。③集団におけるリーダーの育成に力を入れる。とした。(鈴木美音子主幹)
- ・個人的な感想だが、自発的に動ける子供になってほしいので、学校と家庭、地域で一体となって育てられるようになればいい。また集団におけるリーダーの育成については将来社会に出たときに役に立つ人材が育つように、中学校の指導に期待したい。(齋藤委員)
 - ・保護者アンケートの「学校は個に応じた学習をしている」の評価は低い。親は子供個々の能力をつけることを期待していると思うが…。日経のコラムでオックスフォード大学の入試についての記事を読んだが、入試は面接だけで決めている。そこには知識ではなくて物事をどう考えるかの能力を求めている。日本の教育でも公平性よりも個の能力について、知識を使って柔軟に対応できる能力を確認するような体制になっていくとよいと思う。これからは個の能力をつけることが重要ではないかと思う。(伊藤太委員)
 - ・生徒のアンケートで安心、安全で楽しく過ごせる学校生活ができていると評価が高いのは良い。子供達の自主性を重んじた教育方針はとても素晴らしい。(中村委員)
 - ・ティーチングからコーチング、上から抑えつけるのではなく教えるコーチングに変わってきていると思うが、それを学校だけにするのではなく家庭や地域でするコーチングにしたい。また何のために勉強するのか、何のために必要かについて自主的に考えるような教育に期待したい。(西尾委員)
 - ・自立した子供を育てるのも大事な教育だと思う。昔は生徒が何か言っても先生が聞いてくれることはあまりなかったが、今は生徒の考えを先生もよく聞いて意見を尊重してくれるようになっている。(鈴木滋委員)
- 子供達に任せられることができるというのは学校側としてもとても幸せだと思っている。それは、学校と家庭、地域が安定しているためだろうと思う。学校と家庭、地域は地続き。子供たちはその中を行き来して育っていく。この地域では大半の子供たちは安心感を抱いて育っていくことができているが、そうっていない子たちもいるのは事実である。こうした子たちをどうやって育てていくのか家庭や地域と一緒に考えていきたい。(野秋校長)
- 家庭や地域はサブ的でメインは学校だが、子供たちはいい環境の中で育っていると思うので引き続きご指導をお願いしたい。(鈴木滋委員)
- ・本校のいじめ防止の取り組みについてどう感じているか皆さんの考えをお聞かせ願いたい。(神谷教頭)
 - ・いじめについては早期に発見して早めに対応していくというのが基本と考えるが、皆さんのご意見を確認したい。(鈴木滋議長)
 - ・常日頃から先生や同僚に相談できる環境にあることは大変良い。何かあっても対応できている天中ではいい環境にあると思う。こうした環境を続けていただきたい。(齋藤委員)
- 年4回紙でのアンケートをやってきた。今年はその内の1回をウェブアンケートに切り替えた。いじめについていろいろ具体的に質問をしているが、いじめがあると答えているものは黄信号、誰にも相談できないで悩んでいるので早急に対応が必要なものは赤信号として出てくるようになっている。その他、教員はあなたのことをよく聞いてくれるかとか、保護者はどうか?との質問もある。それらの質問に対して芳しくない答えが出てくると、関係性が悪いとの結果となる。また質問に対する答えで矛盾があるとつじつまがあっていないの?マークがつく。天中ではウェブでやったアンケートと紙でやったアンケートで大きな差はなかった。教師との関係性で出たものは、教師側で概ねわかっているが、親子の関係で教師側ではわからない面もアンケートでわかる場合もあった。良かったことはもともと知らなかった

ことはほとんどなかったこと。普段からしっかり確認ができていることの証かなと思っている。（野秋校長）

- ・ 前回の会議でもいじめについての議論がなされたが、本日の説明を聞いてもいろいろ議論されていることがよく分かった。いじめ対応について引き続きお願いができればと思っている。（西澤センター長）
- ・ 学校側で早期発見、早期対応が組織的になされていること、それと生徒会が主体となっていじめの防止活動を生徒の側でできているのがいい。また親の意識も以前と比べたら大分高まってきている。三者の対応を考えるとしっかり機能しているように感じた。（伊藤太委員）

（2）学校運営協議会の自己評価について

○委員各位より記入していただいた自己評価表に沿って報告あり。委員各位の内容はまとめて報告するため、ここでは詳細略とする。

報告

（1）学校部活動について

○学校部活動の地域移行とは別枠で部活動統廃合規定の検討をしている。来年度1年をかけて統廃合の規約を作り上げたい。途中経過の内容を学校運営協議会でも報告していくので、審議していただきたい。（新入生の年度別の入部者数の推移資料参照）問題点は入部する部員数と競技の必要人数、教師側の顧問の人数、体育館の確保と競技種目での使用配分等の実態を踏まえて1年間をかけて検討を進めたい。また学校部活動の休日の地域移行に向けて部活動指導に参加可能な人材調査をおこなった。現在23名から回答を得た。種目ではサッカーとバレーが多い。バレーとバスケ、吹奏楽とパソコンなど2つできる人の回答もあり、年齢も学校を卒業したばかりの天中卒業生もいる。50代60代の人もいて年齢は様々、また吹奏楽を他県に出向いて指導している人もいる。落ち着いた段階で面談などをして人選していきたい。（山城教頭）

→部活動の統廃合について申し上げると異なる種目同士では統合できないので、休部か廃部となる。例えば男子ソフトテニス、去年は入部4名だったので、将来休部かなと思ったが今年18名入ったとか、保護者からもっと強くしてほしいとか長時間やってほしいという要望もある。が、それを100%対応するのは難しい。教員も苦しい部分はあるが、精一杯対応している。部活動の顧問というのは教育課程外の活動なので命令することができない。つまり平日の午後4時半以降と土日の部活動は命令することができない。ではなぜやれているかと言ったら、子供たちのやりたい気持ちに教員も応えたいと思っているから。顧問はできないという教員がいてもおかしくはない。だからこそその地域移行という面もある。学校部活動についてはどこかで今後のあり方を決めていく必要があると思っている。（野秋校長）

・部活動統廃合の規定はしっかり作って対応していかないといけないというのはそういう意味なのかと理解した。（伊藤太委員）

→学校はなかなか自前ではできないといった発言はしにくいですが、こうした事をやっていかないと将来立ち行かなくなるのは明白だ。皆さんに学校の内情を知っていただきながら今後どうしていくべきか相談していきたい。（野秋校長）

（2）桜並木の保全活動（桜の植樹）

○桜の苗木植樹を3月11日に計画している。生徒代表として3年生で各学級2名と、来賓として学校運営協議会から会長と学校支援CD、和田と中ノ町の各自治会連合会長に出席をお願いする予定。今回は5本の植樹を予定している。（神谷教頭）

(3) ボランティア活動の報告

○詳細は別表のとおり。9月、10月は部活動の関係で1年生、2年生は少ない。協働センター祭りで各種の仕事をしていた生徒が積極的に作業していたのが印象的だった。今後も子供たちが積極的に参加できるように進めたい。（神谷教頭）

(4) 夢育やらまいか事業（CS加算分）の報告

○年度末にあたり当事業の報告書を作成した。当初の学校運営協議会で設定した意見書②の項目については具体的な活動にならなかったのが割愛して報告したのでご了承願いたい。（神谷教頭）

(5) 横断幕の設置 詳細略

(6) その他

○次年度第1回の日程候補日の確認 （神谷教頭）